



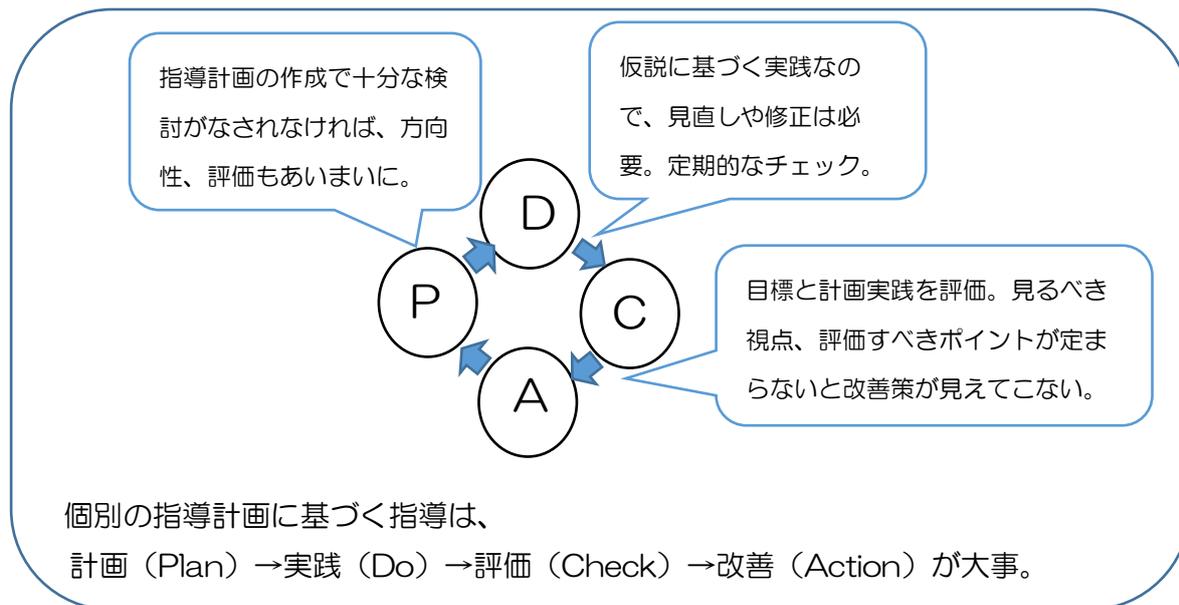
夏季研修会

「事例を通して学び合おう！発達障害のある児童生徒の自立活動」

7月30日（火）に行われた夏季研修会は、予定を大幅に上回る申込みがあり、地域の先生方と本校の教員合わせて80名を超える参加者での開催となりました。今年度の研修会では、講話「自立活動について」、事例検討会、教材・教具展を実施しました。

○講話「自立活動について」

自立活動は「障害による学習上又は生活上の困難を改善・克服するための指導」であり、各教科や各教科等を合わせた指導の基盤となる力を培うものであるという基本を改めて確認しました。また、相談の多かった学習に関する事例について、視覚機能を高めるビジョントレーニングや、効果的な読みの指導としてMIMの紹介などがありました。より実態に合った支援につなげるためには、学習のつまずきの背景にある要因を捉え、子どもの状態を理解すること（アセスメント）が必要不可欠であることも、参加者は再確認しました。



参考文献：2018年 8月号 実践障害児教育 P17（学研）

○事例検討会

事例検討会は、4つの事例グループに分かれて行いました。対象児童生徒の課題や、自立活動として取り組むことのできるようなアイデアについて、本校の教員と地域の先生方が一緒に考え、意見を出し合いました。どのグループも活発な意見交換がなされたようで、事後のアンケートでは、「みんなで話すことで、児童生徒の実態や課題がより具体的に見えた」「指導内容も幅広く出すことができた」「色々な学校の取り組みを具体的に知ることができた」「さまざまなアイデアを知ることができた」などたくさんのご意見をいただきました。

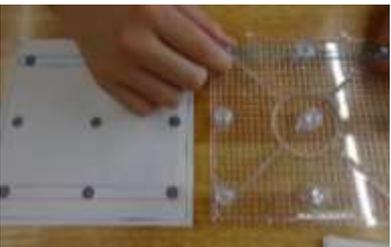
グループ	事例
事例1	感情のコントロールが苦手な小5男子 ・思春期に入り、いままで以上に不安定になってきている。本人に感情のコントロールの仕方を教えたいので、よい方法があれば教えてほしい。

事例2	コミュニケーション障害のある自閉症スペクトラムの生徒 ・他者との関わり方を広げる方法など、少しでも生活が楽になるような取組を知りたい。
事例3	目標や活動の設定 ・生徒の実態が自立活動の27項目のどの項目に該当するのかを考えたり、短期目標や長期目標をどのように設定したりすればよいか分からず苦労している。例えば、提出物が出せない、忘れ物をよくする生徒に対し、自立活動としてどのような活動を取り入れるとよいか。
事例4	自立活動の授業作り ・自立活動において、個々に課題が違う中で一時間の組み立て方とその内容の工夫例を知りたい（身体の動き・コミュニケーション）。



教材・教具展

教材・教具展では、本校の教員が作成した教材・教具、自立活動で使えるアプリ、本校所有の教材・教具、自立活動関連図書の展示を行いました。作成した教材・教具には、自立活動の区分や指導例等を記載した教材教具カードが添えられ、参加された先生方は実際に手に取ってしながら使い方を確認されていました。「すぐにでも作りたくなった」「参考書が豊富にそろえてあり、知りたいことを調べることができた」などの感想をたくさんいただき、大好評でした！展示した教材・教具の一部を紹介します。

1 健康の保持	2 心理的な安定	3 人間関係の形成
<p>はみがき手順表</p>  <p>片手に持って、磨く箇所を確認しながら歯磨きをします。カードで示す代わりに、タブレット端末に画像を入れて、手順を示すこともできます。</p>	<p>スケジュールカード</p>  <p>朝の会や帰りの流れをカードで示します。一つの活動が終わったら、その活動のカードをはがして一番下の箱に入れます。机上にゴムで設置するタイプのももあります。</p>	<p>色合わせパズル</p>  <p>教師が指定した場所に、台紙と同じ色の木片を置いていきます。友達と交互に置く活動もできます。教師や友達とやりとりをしながら活動を進めていきます。</p>
4 環境の把握	5 身体の動き	6 コミュニケーション
<p>輪ゴムでビジョントレーニング</p>  <p>カード（写真左側）を見て、同じ色の輪ゴムをボード（写真左側）のピンに同じようにつけます。</p>	<p>ちょうちょ結び練習セット</p>  <p>レベル1からレベル4まであります。 レベル1：二つ輪ができた状態から結ぶ レベル2：一つ輪ができた状態から結ぶ ・・・というように、段階を踏んで練習します。</p>	<p>横文カード</p>  <p>文章バーにカードを並べて文を作ります。</p> 